



第14号(年1回発行)

発行所

〒160-0022 新宿区新宿6-1-1
東京医大看護専門学校
同窓会

(03)3351-6141(内308)

東京医科大学看護専門学校
同窓会郵便振替
口座番号 00120 118268

同窓会
新役員紹介

ご挨拶

同窓会会長 佐藤 友枝(別1)



この度、同窓会の会長を務めさせて頂くことになりました。今年看護学校創立35周年、同窓会創立25周年を迎えます。私は卒後26年になりますが、同窓生の皆様とは病棟実習や講義等で関わったり、卒後は同じ職場の

仲間として共に仕事をしたりしてきました。今では沢山の娘を持った気分と一緒に頑張って働いています。

同窓会では会計を担当したり、幹事として関わったりしましたが、今回は会長ということで肩の荷がどつと重く感じています。

しかし、これを機会に同窓生の皆様と広く親交を深められたら嬉しいと思っております。沢山のお便りや講演会等への参加をお待ちしています。

同窓生も二十人以上となり同窓会の活動も大変なことも多いようですが、各役員や幹事の方々と協力して同窓会の発展のために努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。



書記 高野 道子(看15)

今回、同窓会書記となりました。15回生の高野です。

今は、まだ何もわからず、不安でいっぱいですが、少しでも皆様の力になれるよう、努力していきたいと思っております。皆様もぜひご協力をお願い致します。

会計 山中 文子(看23)



同窓生の皆様お元気ですが、私も早いもので今年で東医に勤務してなんと10年目をむかえてしまいました。私の事を御存知の同級生の方は、まさかこの私がここまで残っているとは思わなかったでしょう。

同窓会に於てはこれまであまり運営に携わることもなかったのですが、今回役員という大役をひきうけることとなり、勤

まるかどうか不安な気持ちもありますが、頑張りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

会計監査 大矢幸子(連9)



この度、同窓会役員として会計監査と新聞係を担当することになりました。

いままで、幹事として同窓会に関わって来ておられる役員の方々の大変さは知っており、私で勤まるのかと不安ですが、一旦引き受けたからには、役員として、同窓会のさらなる発展の為、微力ながらも努力して行きたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。

会計監査 小林由美(看25)



今回、新役員となりました25回生の小林由美(旧姓吉田)です。同窓生の皆さん、そして25回生の皆さんお元気ですか。役員として私が担当するのは新聞係と会計監査ですが、特に新聞の仕事はとても楽しみにしています。この新聞で、久しくお会いしていない同窓生の方々と交流が持てたら、と思っております。

私自身は、仕事、家庭、趣味の両立がようやくサマになってきたところで、近況お便り下さい。最後に旧役員の方々、本当におつかれ様でした。



看護専門学校

新教員紹介

専任教員 角 ひとみ

専任教員 藤 真由美

初めまして。私は、角ひとみと申します。一昨年度まで、看護婦として働いていました。臨床経験は20年と少しです。と言え、年の見当はつきますね。教員になった理由



は、以前から学生には、「看護は素晴らしい仕事だ」ということを伝えたいと思って、そんな後輩を育て、これからの看護を担って欲しいと思つていたので。今一は、戸惑う事ばかりの毎日ですが、学生と共に学び、成長していきたいと思つて



四月に赴任し数ヶ月が経ちましたが、まだどれくらい学生の声に耳を傾けられるのか、あまり自信がありません。しかし、学生と共に自分自身もお一層学ぶ機会をいただいたことを嬉しく思っています。教員はこうあるべきだという枠で縛りつけられず、微力ながらも本学を果立っていく学生



が将来すばらしい看護師に成長できるように、その時、その場で最善の判断をし、学生と関わっていきたく思っています。よろしくお願い致します。

東京医科大学看護専門学校 創立35周年にあたって

教務主任 黒坂 知子 (看3)



「光陰矢の如し」、月日の経つのは速いもので、本校は今年創立35周年を迎えた。3回生の私は、30年余りをこの学校の歴史と共に歩んできた。学校の歴史を内から見てきたものとして、変わったもの、変わらぬものを見つめ直してみた。変化の第1は、看護教育制度の変化である。看護教育は看護専門学校での教育から、看護大学・看護短期大学の大学教育に移行しつつある。それ故、本校の母体と同様の私立医科大学の殆どは、看護大学・短期大学の設置を終了している。看護専門学校としては歴史もあり、優秀な卒業生

を多く輩出していると自負しても、他学と比較した時、この変化に対応できていない現状に引け目を感じているのは、私だけではないだろう。35年という節目を機に、看護大学の設置が一日も早く決定しますように、皆様

に今まで以上のご支援をお願いしたい。

変化したものの第2は、看護をとりまく社会環境の変化である。私が卒業した30年前、誰がこれほど急速に高齢社会になると予想したであろうか。また、医療の発達にも目をみはるものがある。これらの変化に伴って、カリキュラム改正が2回行われたが、本校においても、社会のニーズにあつた看護教育を実施できるように、内容や設備を充実させてきた。教育内容の充実には、関連病院で働く卒業生の力を借りなければ成り立たな

いので、今後ともご協力・ご指導を期待して

最後に、30年余り変わらないもの、それは看護の道を志そうとする学生たちの「心」であろう。外見は、30年前に比べ大いに変わり、驚くことも多いが、看護の本質を学び、人のためになろうとする「心」は変わってはいない。このような「心」をもち、21世紀の看護を担う看護者の教育機関として、益々発展して欲しい。



総会

（第10回通常総会） 懇親会開催

平成10年6月20日(土)

左記の内容で開催されました。

I. 議長選出 議長 大矢幸子(進9)

II. 会長挨拶及び経過報告

III. 各係から活動報告

・講演会

・同窓会だより

・名簿

IV. 会計報告

平成9年度決算

平成10年度予算

V. 平成10年度年間計画

VI. 新役員紹介・承認

退任する役員挨拶

VII. 閉会 議長解任

引き継ぎ6Fカフェテラ

スで懇親会が開かれました。

それぞれ近況や同窓会への想いを語りあう

などとてもなごやかな会

となりました。

「載帽式を振り返って」

大内 愛子 34回生

一人一人の名前が呼ばれ、ナースキャップを頂いた日から5ヶ月が過ぎようとしています。私達はナイチンゲール誓詞に加えて34回生の言葉を述べました。人間というのは、時が過ぎるにつれて、その時の思いや喜びを忘れがちになってしまうものであると思います。

しかし、そんな時私達が述べた言葉を思い出すことにより初心を忘れることなく学んでいけるという事を7月に行われた臨床実習で実感しました。

11月から4週間にわたる臨床実習が始まりました。私達一人一人があの日それぞれ感じた思いを忘れることなく実習にのぞんでいきたいと思えます。例え何年たつても、載帽式のナースキャップを頂いた時の誇りや感動を忘れずに学んでいきたいと思っています。

海外研修を終えて

山口久美子 34回生

9月19日から1週間、我々34回生はオーストラリア(ブリスベン・ゴールドコースト)へ研修に行つて参りました。

グリフィス大学で老人福祉や看護について講義を受けたり、ゴールドコースト病院やヘルスセンター等の施設を視察する一方、コアラに触れたり、シヨッピングをしたりと多忙なスケジュールでした。

病院見学をして、最も衝撃的だったことは入院日数が短いということでした。公共病院では、分娩後産婦は二日間退院します。これは、退院後のケアが訪問看護婦等により徹底して行われているから可能なことなのであります。

今回の研修では、オーストラリアの保健・医療(看護)・福祉事情に触

れ視野を広げることができました。また、ホームステイ(29人のみ二日間実施)や交流会等を通し、オーストラリアの生活文化や人々のおおらかな心に触れたことも貴重な体験となりました。

新主任紹介



森 貴美(看13)



八木橋 史子(看22)



■正門

今年4月から透析室の主任を命ぜられ、青息吐息という感じで仕事をしています。自分の人生設計において管理的立場に立つなど考えてもいなかったのですが、まだ会議に出席するたび不安一杯、刺激一杯という感じです。自分がどれだけの成長でき、又同窓生のみな様の役に立てるか分かりませんが「継続は力なり」を座右の銘に頑張っていきたいと思えます。



皆さんこんにちは。卒業してはや10年。外科病棟で8年。現在は、小児病棟3年目です。主任となつて4ヶ月が経ちましたが、まだ慣れないことも多く、戸惑いながらも毎日です。こんな私ではあります。これからも精一杯頑張っていきたいと思えます。



高年齢者の夫と、私生活では自営業の夫と、真の姿を見て「いすれ我も行く道」しかし、健康は自己管理が一番と……この夏は鎌倉の山歩きにいそしみました。

皆さんもますます元気でご活躍下さい。

なつかしの先生

石川 フジ子(旧姓宮崎)

同窓生の皆様お元気でいらつしやいますか私が退職して、はや7年になります。

退職後、都立の看護学校で非常勤講師、横浜では新設の看護学校に準備から関わるなど、この3月までは看護学校に在職して参りましたが、4月に医療から福祉の仕事へ切り替えました。

私は現在、品川区立中延住宅介護支援センターで勤務しております。この職場は今年の5月6日に品川区立中延複合施設としてオープンした施設の一部です。兼務の所長と主任ソーシャルワーカーなど4名で、役所に行かなくても相談できる身近な窓口として、来所、訪問、電話等で相談を受け、必要なサービスを受けられるように連絡調整をしています。

医療技術の進歩や慢性疾患の増加、人口の高齢化に伴つて多くの問題をもちながら、在宅での生活を余儀なくされている方が増加している昨今ですが、私の想像を超える世界が在宅の場にある事を目のあたりにし驚きでいっぱいです。走りだしたばかりですが、責任の重さと自分の勉強不足を日々痛感しています。安心して在宅での生活が継続できるように支援できる力をつけたいと頑張っています。私生活では自営業の夫と、高年齢者の夫と、真の姿を見て「いすれ我も行く道」しかし、健康は自己管理が一番と……この夏は鎌倉の山歩きにいそしみました。

ギーを思いつきり浴びて現在は心身共に健康で又楽しく日々を過ごしています。今でも私が婦長（それも脳外科の）をしているなら信じられないのですが役割、仕事が私を成長させてくれたのだといつも感謝しています。これからも東京医大病院の皆様、同窓生の皆様の健康と御活躍を心よりお祈りします。

勳統20周年を迎えて

竹内 弥生(進5)

早いもので、四月一日で勳統20周年を迎えることとなりました。何よりも本人が一番驚いています。なにしろ東医育ちで、箱入り娘のまま成人式を迎えたそんな感じでしょうか？同期の残留組も3人となくなりました。東医の周辺もすっかり様変わりして、私達の青春時代の頃の面影は記憶の中だけになりました。今は、慣れた顔で通勤していますが、時折ふと思いだしては昔を懐しく思い出しています。

近況報告

佐藤邦子(別5)
(旧沼田)

現在、内科外来に所属しています。内科外来では、20代から60代まで、幅広い年齢層の看護婦が一緒に楽しく勤務しています。外来看護の充実が、注目されている昨今、院内教育にも積極的に取り組み、看護の向上に努めようと皆で頑張っています。

進学科5回生の皆様。元気で過ごしてはいかがでしょうか。個性豊かな女性達の集合体でしたので、きつとどこかで活躍されていることと思います。そろそろ深石先生を囲んで皆さんで逢いたいですね。そして別れて20年近い歳月の様々なエピソードを看にしていざやかに、お話しできればと思います。

別科5回生の皆さんお元気でですか。卒業以来、二十二年もの月日が流れてしまいました。もう誰一人として大医院にはおらず、私ひとりが残ってしまいました。

**二足のワラジで
ガンバッテイマス
東 美千子(看2)**

学生時代は、一番若かった私です。二歳や三歳のお姉さんだった皆さんの笑顔も、今はオバさんに変わっていることでしょうか。

昭和46年 バスポートを手には沖繩へ帰って来た。あの日から早や27年が過ぎた、今高校教諭の主人と二人娘四大家族で生活している。現在看護婦と保護司の仕事に頑張っている。昭和61年法務大臣の辞令を受け今日にいたっている。少年問題が社会問題へと広がっている今日、親は何をすべきか、又どうあるべきか、問われる中、保護司にかせられる仕事は大きい。これまでに担当した少年でも良い方向へ更生して生活している者もいれば、立ち治るのに長時間を必要とする者もいる。保護司の使命は、社会奉仕の精神をもって、犯罪をした者の改善及び更生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発に努め、地域社会の浄化に努め、個人及び公共の福祉に寄与する事、犯罪を犯した者や、非行に走ってしまった者を雇用してくだ

される雇用主を見つけれも難しい、生活の自立と更生のお手伝いは、なみたいでいいものではない、テレクラから性的問題、そして覚醒剤、シンナー中毒等、社会不安が、募れば、募る程、低年齢化、広がり、顕著になります。少年の非行は、すなわち大人社会の悪の投影なのではないかと、考えさせられる昨今です。二足のワラジの私ですが、健康に気をつけてがんばっています。

最後に、卒業生の皆様！メンソール・オキナワ！（沖繩へ、いらっしやい！）

現在は、子供もPTA活動をきっかけにした地域での社会活動に積極的に関わっているつもりですが、心の奥底には「自分は医療の分野をとおして社会貢献をしたかったのだ」という強い願いがあるのを感じます。特に、看護学校で教育を受けた「看護の基本になるもの」は、医療のわくをはずす「人間の基本になるもの」ではないかと実生活を通してなおさら学んだからです。新鮮は空気と水、呼吸や休養の大切さ、こんな単純なものを整えていく、守っていくのさえ、そう願う人々の強力な援助の力が必要なのだ、子育て中にも幾度と



そんな訳で、同窓会も名ばかりの幹事。人まかせになって、迷惑をかけています。どなたか心ある方、幹事という荷を肩から卸ろして、楽にして

「看護の基本となるもの」



清水 君枝(看13)

看護学校卒業後、一年間の診療所勤務をしまし

た。思うところがあった。再び聖母助産婦学園で助産婦の免許を取りました。結婚後は専業主婦になり、20年もたとうとしています。厳しい条件の中でも、看護職を続けていらっしやる方々に頭が下がる思いでした。

なく思い当たったり、災害のボランティア看護婦として活動した体験からも、又地球規模で汚染の進んでしまったというニュースからも、そう感じざるを得ません。

病氣からも完全に身を守ることができないように、あらゆる環境からも思いがけない健康や生活、人権までもがおびやかされることのあるのたなあと、あまりの理不尽さに無力感ばかりが先ば返つたりできるのは、自分が看護婦として教育を受け、可能な限りサービスを他人に提供する側に立てるようにしてもらっていることへの自覚でした。

育児に疲れ、子供をどこかへ放り出したくなつたような時、阪神・淡路の大震災で何日も水が自由に使えず、せめても考えた「足湯」のサービスで、お年寄りから感謝の言葉を戴いた時、原発事故による放射線障害をなんとか救おうと努力する医療の人々に接する時、多くの時に若い時代に看護の基本に学んだことが最も強力な力であると考えます。

私の近況報告

告原 博美(看15)

一九九八年は、波乱の幕明けとなりました。新年早々、腰椎々間板ヘルニアで緊急入院、手術。二ヶ月の入院生活と三ヶ月間の自宅療養を経て六月から仕事に復帰。しかし、仕事復帰後、今度は主人が入院したり、母が手術を受けたりと、本当に病気がついてる半年でした。今年の前半は、自分や家族の入院で患者さんの立場に立たされることが多く、身をもって患者さんの気持ちを理解することができました。特に、自分が二ヶ月入院した時、二週間のベッド上安静を経験して、私達ナースは患者さんにとつ

看護を行なう上で、知識、技術はもちろん必要です。それと、患者さんに対するちよつとした気配りが大切だと思います。何かしてほしいことはないか、何か聞きたいことはないかなど、それを事前に察知して声をかけることがどんなに患者にとつてうれしいことかしれません。

今現在は、元気に外来婦長として勤務しています。今までに外来の経験がなく、毎日いろいろと大変なことばかりですが、今回入院した時に自分が感じたことを仕事に生かして、がんばっていきたいと思っています。

私生活の方も、子供が一才八ヶ月になり、何かと大変な毎日を送っています。まだまだ母親としても未熟な部分はあると思いますが、子供の笑顔に助けられながら、育児しています。



て、なんて大切な仕事をしているのだらうと思えました。患者さんは、本当に遠慮しながら入院生活を送っているのです。

「十七回生の皆様お元気ですか。」
太田 郁子(看17)
東京医科大学病院を退



職し、仙台に嫁いで十一年になります。こちらの病院で勤務したこともありませんが、体調を崩して入院する始末……：……今、今は専業主婦をしております。東医勤務中にも、三度も入院し、スタッフ・先輩・同級生の方々に御迷惑をおかけした事がありました。この場をお借りして深謝申し上げます。

「今も、看護に携わっています」
春日 広美(看19)

東医看護専門学校を卒業して十余年、5年間勤務した東京医大病院を退職して8年が過ぎました。本当に時の経つのは速いものです。

そんな私も、現在妊娠中です。高齢初産のため、不安はありますが、同級生や心強い友人に助けられ無事出産に臨めそうです。このような生涯の友人に恵まれたこと……：……これも東医看護で得た貴重なもののひとつです。「知識・心・友」どれも大切なものばかり。

保険関係に従事する夫の仕事から、学生時代の教科書や資料が、今も大変役立つとあります。この頃では、夫の方が医療に詳しくなり、改めて勉強させられることが多くなりました。今後も、東医で学んだ知識を基に夫と共に勉強を続けていきたいと思っております。今後とも、遠く離れておりましても十七回生の絆に感謝し、同窓生の皆様の多方面での活躍をお祈りしております。



東医での臨床経験を振り返りながら、臨床時代には十分に考察できなかった看護の可能性について、学生たちを通じて気づかされ、昔の自分の看護のありようを考えさせられることがたくさんありました。

結婚後は教員を辞め、現在は自宅でのんびりとした生活を送っています。それでも看護との関わりは断ち難く、看護系大学や短大の非常勤での実習指導、看護研究調査の調査員、予備校で看護婦(士) 国家試験対策講座の非常勤講師などをして、ちょこちょこ看護との接点を持っています。

現在の国家試験は私が受験した当時よりも、専門的かつ判断能力を問われる内容が増えたことを実感しています。予備校

に通って来る生徒のほとんどは、今年度の国家試験に失敗した人たちです。自己採点ではおそろくほんの1点2点が足りなかつたために落ちたとと思われる生徒が多く、なおさら彼女たちのショックは大きいと感じます。教員時代は「看護学」を教えることはあっても、それは決して国家試験を意識したものではないので、非常勤とはいえ、現在は国家試験に合格するための講義方法に四苦八苦しています。

仕事以外では、以前から興味のある看護の歴史研究を、看護歴史研究会に参加させていたたいで、現在楽しく学習させていたでいます。看護はその時代時代の社会状況、庶民の生活の中に存在していますから、基本的に社会全体の歴史を把握していかねば、看護の歴史も理解できません。という事で、目下、世界および日本の庶民の生活史を勉強することが私の最大の課題です。

そのようなわけで、今しばらく好きなことに時間を充ててもらい、十分に充電したらまた看護の現場に復帰したいと考

えています。皆様も様々な場所で、それぞれの立場でご活躍なさっていることと思います。またいつかお会いできる機会を楽しみにしています。



「嫁にも行かず、まだ働いています。」

佐久間 喜深(看20)

20回生の皆さん、お元氣ですか。東京医大で過ごした日々がなつかしく思い出されます。

今私は、桜町病院のホスピスで働いています。ホスピスでは患者さんの価値感を尊重しているため、いろいろな価値感を学ばせて頂いています。ある患者さんは入院されて来て、「ホスピスから仕事へ行かれてもいいですよ」と話した時、これで本当のQOLだ。とおっしゃいました。仕

事を誇りに思っていた方がありました。又、頸椎に転移があり、それが骨折した時、死に直結する事を御存知でも「安静にして天井を見てても病気は進む。だったらそれまで家族と過したい。家にも帰りたいたい。」と話され実行した方もいます。本当に様々ですが、私達はそのお手伝いをさせて頂いています。



ボランティアの方々の力も大きいです。中にはバーテンの方もいて、本格的カクテルが一杯百円で飲めます。患者さん(私も)喜んでいきます。当ホスピスでは、一般向けのセミナーもあります。興味ある方はぜひいらして下さい。



「看護教員ノススメ」

佐藤 暁子 第26回生



同窓会会員の皆様、そして二十六回生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は昨年、東京都立医療技術短大看護教員養成講座を無事卒業し、現在は八王子市立看護専門学校にて専任教員として勤務し

訪問看護を

佐藤 郁美(看28)



二十八回生の皆さんお久しぶりです。私は、四月に栃木県に戻りのんびりと生活を送っています。今は、訪問看護ステーションに勤務しており、一日二〜五件の患者さんを訪問しています。主な

でおります。全く新しい環境の中、実習では急性期(主に外科系病棟)を担当し、講義は成人看護学と、目が回るほどの忙しさとはまさにこのことだと実感している毎日です。

先日、看護学校時代からの友人と久しぶりに食事を共にしました。その場で、「一日二十四時間じゃとても足りない。私自身があと二〜三人欲しい」と毎日の忙しさを切々と訴えてみたのですが、「冗談でしよ。一人で十分よ」と素っ気ない一言。今だに、いったいどういう意味かと首をかしげています。一人でも

できるはず、頑張れ」という励ましの言葉だと思いたいところですが、現実には甘くない。きつと言葉通り、ニューアンス通りの意味なのではいっしょう。

一人の力で看護婦になったような顔をして働いていたように思っています。忘れかけていた新鮮な思いを、学生と接することで日々取り戻しているところですが、確かに、少し慌しいけれど、充実した毎日を送りたいと考えている方、ぜひ看護教員になつてみてはいかがですか？

看護内容は、状態観察・散歩保清・往診の介助・点滴ライン類の管理・介護者への援助等です。病院とは違って、私達が患者さんの生活の場へゲストとして訪問すること、本日の患者さん中心の看護ができるように思っています。訪問している患者さんは様々ですが、在宅療養が安定して送ることができるよう、又介護者の負担を考え福祉との連携をとり様々なサービスの利用も働きかけていく事も大切な看護となっています。

訪問看護は、状態観察・散歩保清・往診の介助・点滴ライン類の管理・介護者への援助等です。病院とは違って、私達が患者さんの生活の場へゲストとして訪問すること、本日の患者さん中心の看護ができるように思っています。訪問している患者さんは様々ですが、在宅療養が安定して送ることができるよう、又介護者の負担を考え福祉との連携をとり様々なサービスの利用も働きかけていく事も大切な看護となっています。

ご寄付ありがとうございます。

平成9年度に次の方々よりご寄付を頂きました。

進10	吉野 晴子様	10,000円
看8	田淵美世子様	3,000円
進1	青木 典子様	2,000円
進10	藤原 秀子様	2,000円
23	渡辺 祥子様	1,000円
看15	内田 幸子様	2,000円
看16	佐々木 操様	5,000円
	山田 節子様	3,000円
看3	藤原喜代子様	30,000円
看4	柴生田美智子様	2,000円

また、看12回生の皆様より平成10年度に16,090円のご寄付を頂きました。皆様ありがとうございます。ご寄付頂いたお金は、今後の会の運営資金に使わせていただきます。

一部の同窓生より、講演会開催時の託児所設置についての希望があり役員会で検討させていただきました。結果、託児中の責任を負いかねるという理由により採択されませんでした。

御理解のうえ、御協力をお願い致します。

同窓会係より



平成9年度 会計報告 平成9年5月1日～平成10年4月30日

< 収入 >

項目	金額
平成8年度繰越金	9,031,325
同窓会会費(31回生)	20,000
同窓会会費(32回生)	820,000
寄付 (10名 郵便口座)	60,000
利息	6,887
合計	9,938,212

< 支出 >

項目	予算	支出	予算残高
本部会	350,000	261,586	88,414
同窓会便り	500,000	75,618	424,382
名簿	2,250,000	0	2,250,000
講演会	400,000	315,559	84,441
郵便口座手数料		710	
合計	3,500,000	653,473	2,847,237

<収入> <支出> (平成10年度繰越金)

9,938,212 - 653,473 = 9,284,739

会計 山下 恵子
 高城 由紀
 会計監査 関口 淳子
 山下 美代子
 守屋 みゆき

平成10年度 同窓会予算案 (平成10年5月1日～平成11年4月30日)

収入予算案

項目	金額
同窓会費	800,000
その他	6,000
前年度繰越金	9,284,739
合計	10,090,739

支出予算案

項目	金額	内容
本部会費	550,000	幹事会費、卒業記念品、印刷代、お花代、総会費用、運営活動費
同窓会便り	500,000	印刷代、郵送費、切手代、はがき代お礼金、交通費、運営活動費
名簿係	2,500,000	名簿管理費(新会員入力、変更入力)交通費名簿発行、タックシール代、運営活動費
講演会	30,000	運営活動費
定期預金	5,000,000	
予備費	1,410,739	
合計	10,090,739	

同窓会名簿



1991
東京理科大学同窓会

母校創立35周年記念同窓会名簿刊行(旧10年9月発刊)いたしました。

刊行委員長 坂井 都美子 委員 山下 美代子 委員 守屋 みゆき
名簿刊行委員会 中山 ハル 鳴海 礼子 白須 計代 金川 利江 相内 敦子
早川 司子 浅見 由佳 梶 良恵 山中 文子 渡辺 晶子

まだまだ住所不明者がいらっしゃいます。消息をご存じの方はお知らせ下さい。

【連絡先】 東京理科大学同窓会 1-10-13 府中野町2-5-17 電話 03-3360-0994
【FAX】 03-3360-0400 東京理科大学同窓会事務局(同窓会事務局)発行

姓 名 ・ 子 供 名 ・ 夫 氏 名

Table with multiple columns listing names and family details. The text is small and dense, following the header '姓 名 ・ 子 供 名 ・ 夫 氏 名'. It appears to be a continuation of the alumni directory from the previous page.